

報 道 配 布 資 料

平成20年(2008年)8月27日

所 属 名	所属長名	部局長名	担当者職・氏名	連 絡 先
山口県立大学	学長 え さと けんすけ 江里 健輔	共通教育機構長 まつ お ひろし 松尾 洋	国際文化学部准教授 (地域共生演習担当教員) シャルコフ・ロバート	083-928-4764 (携帯) 090-7122-3662
発表内容の 関係地域	[<u>全県</u>]、岩国、柳井、周南、[<u>山口</u>]、防府、宇部、山陽小野田、下関、長門、萩、 首都圏			

山口市荒高町内会「もりさま祭り」への参加について

～ 女みこしの復活 2年目の挑戦 ～

1 趣 旨

昨年度、山口県立大学と野田学園高等学校の高大連携事業の具体的取組として、また、本学の共通教育科目「地域共生演習」の一環として、山口市荒高町内会「もりさま祭り」に参加し、女みこしを復活させ、「地域の祭り」の活性化に寄与したところです。

今年度は、現代G P(※)に採択された事業の取組のひとつとして、昨年度の経験を活かし、学生等の参加を募るだけでなく、祭り全体の企画・運営にも若い力を導入するなど、さらにバージョンアップした、地域活性化のモデル的な取組となっています。

※現代G Pは、社会的要請の強い政策課題に対して各大学等が取り組む学生教育のうち、特に優れた教育プロジェクトを国が選定し、これに財政支援を行うもの。本学の現代G Pは、この「やまぐち多世代交流・地域共生授業の展開」と、「持続可能な社会に繋がる人的財産の育成」の2件が、平成19年度に採択され、事業期間は平成21年度までの3年間となっています。

[G P … Good Practiceの略]

2 日 時・場 所

平成20年9月1日(月) 14:30～15:45

山口市内商店街(中市:NAC → 本町:長寿寺)

3 概 要

山口県立大学学生25名、野田学園高等学校生徒40名が参加

女みこしのほか、男子学生・生徒が、子どもみこしの先導や太鼓打ちなどを行います。